

第5回恵那市リニア中央新幹線対策協議会【会議要旨】

日時：令和2年1月28日(水)
午前10時～午前11時30分
場所：市役所西庁舎3階災害対策室

○あいさつ

【報告事項】

1. リニア中央新幹線関連事業の進捗状況
2. 中部電力リニア中央新幹線電力供給事業の進捗状況
3. 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画の策定について
4. その他
 - (1) 恵那市リニアまちづくり講演会の開催について
 - (2) リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の要望について

公開または非公開の別 公開

出席者

小坂喬峰会長、柘植羌副会長、後藤康司委員、堀誠委員、宇野弘委員、山内達雄委員、丸山文憲委員、坪井弥栄子委員、纈纈鍊一委員、市川秀典委員、西尾公男委員、勝川恒洋委員、可知子委員、佐藤吉松委員、鹿野範雄委員、梅田光成委員、柘植恒雄委員、市川美彦委員、林憲二委員、西尾義男委員、渡邊大作委員、加藤春人委員、丸山朝夫委員、曾我佳奈子委員、前川登委員、加藤真治委員代理、林雅樹委員、加藤一郎委員、光岡伸康委員、太田敦之委員

傍聴者 5名

開会

○ あいさつ（小坂喬峰会長）

- ・ 本協議会は、平成 29 年にスタートし今回で 3 年目を迎える、5 回目の開催。
- ・ リニアの最近の進捗は、新聞報道で見るように静岡の問題で足踏みしている感じがあるが、岐阜県についていうと、JR が着実に事業を進めている。
- ・ それに対応するように、令和元年 12 月に恵那市リニアまちづくり基盤整備計画を策定したプラスの効果を最大にしてマイナスの効果を最小に、と以前から言っている。リニア開通後に、あれをやっておけばよかったとなならないよう、委員会で、時間のかかる基盤整備について計画的に進めていくための基盤整備計画をまとめていただくことができた。
- ・ マイナスを最小にするために情報を共有したい。本日はそのための会議。市内で 12 月に工事契約が締結され、用地取得も動き始めた。今日は、こういった状況の中で恵那市はどうしていくのか、ご議論いただきたい。

【報告事項】

1. リニア中央新幹線関連事業の進捗状況

事務局から、リニア中央新幹線関連事業（大井町 2 区観音寺・岡瀬沢、3・13 区青木・北関戸、7 区野尻・野畑・大井長島、8 区旭ヶ丘・長丘、長島町中野・久須見、武並町藤東部、武並町藤西部、岐阜県内）の進捗状況及び長島トンネル新設工事の契約について報告。また、以下のとおり発言があった。

《報告内容》

- ・ 大井町 2 区で、騒音に対する環境対策工について JR 東海、地域で協議中、営業中の建物について物件調査実施中
- ・ 大井町 3・13 区、長島町中野・久須見で、用地取得準備中
- ・ 大井町 7 区、8 区、武並町藤西部で、付替道路等について JR 東海、地域、管理者で協議中
- ・ 大井町 8 区、武並町藤西部で、用地測量（用地立会）準備中
- ・ 武並町藤東部で、地質調査（追加調査）実施中

《発言内容》

(市川美彦委員)

- ・ 事業が進んできているなかで、地域での取り組みも進んでいます。本協議会で、各地域からの課題の集約、それらの課題への対応を JR 東海・市どちらが行うものなのか、といった整理が必要ではないか。

(事務局)

- ・ JR 東海の測量結果を待つのではなく、地域に入って問題の協議をしていきたい。工事に関する詳細を市も掴めていないので、JR 東海へ情報共有を求め、地域へ情報提供を行いたい。工事によるリスクが少なくなるようにしていきたい。

(市川美彦委員)

- ・ 地域で積み上げられている課題が大事。恵那市への問題提起もある。本協議会で、そうした課題を受け止め、JR・市に対応を求めていくのはどうか。

(事務局)

- ・ 現時点で具体的な計画はないが、地域の意見を大事にして対応していきたい。

2. 中部電力リニア中央新幹線電力供給事業の進捗状況

事務局から、中部電力リニア中央新幹線電力供給事業（500kV 恵那分岐線（武並町・長島町）、恵那変電所、154kV 送電線、岐阜県内）の進捗状況について報告。その後、中部電力から変電所・送電線建設計画について説明。また、以下のとおり発言があった。

《報告内容（恵那市）》

- ・ 500kV 恵那分岐線で、用地測量が完了し、補償協議の準備中
 - ・ 恵那変電所で、関連工事実施中。また、変電所の工事準備中
 - ・ 154kV 送電線で、長島町内で準備工事実施中。笠置町内の姫栗区で現地踏査実施
- 中部電力あいさつ（送変電技術センター リニア関連送変電工事所長 岡田博生）
- ・ 用地交渉が本格化し、昨年、用地について地域の皆様との話がほぼ整った
 - ・ 2月から本格的に工事に入る予定。
 - ・ 今回、工事計画・進捗状況について、変電所を建設する長島町久須見地区を中心に説明させていただく。
 - ・ 笠置町の皆様とは、話し合いを進めさせていただいている。引き続き、ご相談をさせていただきながら、理解を得て事業を進めていきたい。
 - ・ まもなく本格的な工事に着手する。多くの工事車両が地域の中を通行させていただくことになるので、地域の負担・不安を解消しながら、安全第一で円滑に工事を進めていきたい。

《報告内容（中部電力）》

- ・ 水路改修工事は、搬入道路（新設）からの排水を既存の茂立川水路へ安全に流下させるために必要な改修工事。改修を計画している 6 箇所のボックスカルバート中、5 箇所の改修が完了。開水路部改修は、2020 年春頃完工予定。
- ・ 市道改良工事は、搬入道路が完成するまでの間、既設市道を利用するため、オーバーレイや側溝設置を行ったもの。2019 年 9 月に完工。
- ・ 恵那分岐線は 2020 年 2 月頃から伐採に入る予定。
- ・ 恵那変電所工事は、2020 年 2 月以降に本格的に工事に入る予定。

《発言内容》

(山内達雄委員)

- ・ 我々はほとんど情報を持っていないが、久須見地区に対して今までどの程度の説明をしているのか。また、今後どの程度の説明をしていくのか。

(中部電力)

- ・ 茂立地区は、リニア事業推進委員会という地域組織に説明しながら、次に自治会の集会、というように説明を進めている。準備工事については、地元の方、恵那市と相談・協議をしながら、ご納得いただき事業を進めている。また、本体工事についても同じように、茂立の自治会の方と協議し、ご納得いただいた上で工事を進めていく。山中地区は、2019 年に説明会を開催し、現在、伐採作業に入らせていただいている。

(山内達雄委員)

- ・ 行程についても説明していくのか。

(中部電力)

- ・ 今回説明したような内容を、噛み砕いて細かく説明していく。地元に定期的に説明していくよう、委員会と協議をしている。工事着手前に、住民の方々にご説明させていただいた上で工事着手する。

3. 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画の策定について

事務局から、恵那市リニアまちづくり基盤整備計画の策定について報告。

《報告内容》

- ・ 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会を設置し、昨年9月から12月までに3回の委員会を開催し、9月10日～10月9日までパブリックコメントを行い、計画を策定した。
- ・ 都市計画マスターplanを踏まえ、リニアまちづくり構想の実施計画という位置付け。リニアの効果を最大限発揮するとともに、交通混雑箇所など課題の解消を目指した基盤整備を行う。
- ・ 本計画の期間は、前期、後期、将来の3つの期間を想定。令和2年度からリニア東京－名古屋間開業までの7年間を前期、その後東京－大阪間開業までの10年間を後期、それ以降を将来として事業を分類している。

《発言内容》

(市川美彦委員)

- ・ 岡瀬地域でリニア事業の進捗を妨げているのは騒音の関係。JR 東海が騒音対策としてフード構造を採用する根拠を、まちづくりの将来の課題として定義していくべき。将来の基盤整備を考えるために、この地域における都市計画用途地域を検討していただきたい。

(事務局)

- ・ 市で勝手に用途地域指定するのは難しい。現在、乱開発等が進まないよう、大井町1区2区の地域と話し合いながら将来のまちづくりについて検討しているところ。検討結果を図化して、地域と調整を行うよう進めている。

4. その他

事務局から、恵那市リニアまちづくり講演会の開催、リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の要望について報告

《報告内容》

- ・ 令和2年2月28日にリニアまちづくり講演会を開催する。
- ・ 令和元年11月5日にリニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会が、JR 東海に対し要望書を提出した。

○閉会のあいさつ（柘植羌副会長）

- ・ 市内で長島トンネル工事が契約され、いよいよ工事が本格化してくる。工事内容が具体化してくると地域で様々な課題が出てくる。今後も、しっかりと情報提供させていただき、適切に対応していきたい。

閉会